科目ナンバリング	U-LAS07 10009 LJ31						
授業科目名 <英訳>	日本の法と政治 Law and Politics of Japan			担当者所属 職名・氏名	法学研究科　教授　木村　敦子 法学研究科　准教授　高谷　知佳 法学研究科　准教授　石間　英雄 法学研究科　准教授　音無　知展		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	日本理解		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	金4	配当学年	１回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

日本の法と政治について基本的な知識を学び、日本社会の仕組みについて理解を深める。
次の具体的テーマについて講義をし、参加者で討議する。
①日本の法の歴史について
②日本国憲法について
③日本の民法について
④日本の政治の仕組みについて

[到達目標]

・日本の法の歴史、憲法や民法の内容を踏まえ、日本の法制度に関する基礎的知識を習得する。
・日本の政治について、政党や選挙に関する基礎的知識を習得する。
・法制度や政治について、日本やその他諸外国との比較を踏まえながら、各国の特徴を理解する。
・現代社会における諸問題を検討・分析するための基礎的素養と検討・分析能力を養う。

[授業計画と内容]

第１回～第３回　高谷知佳担当（日本法制史）
前近代の日本の法の歴史について、基本的な内容を教える。おもに、古代・中世・近世それぞれの法と紛争解決について講義する。

第４回～第７回　音無知展担当（憲法）
日本の憲法について、基本的な内容を教える。おもに、国会・内閣・裁判所の構成や権限と、人権保障の現実について講義する。

第８回～第10回　木村敦子担当（民法）
日本の民法について、売買などの取引に関する法制度や家族に関する法制度について講義する。

第11回～第14回　石間英雄担当（政治学）
日本の政党や選挙の特徴について、他国との比較を織り交ぜながら講義する。

≪試験≫

第15回　フィードバック

[履修要件]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

日本の法と政治(2)へ続く↓↓↓

日本の法と政治(2)

[成績評価の方法・観点]

講義への出席と参加状況(30%)、および学期末に行う試験(70%)で評価する。

[教科書]

未定

[参考書等]

（参考書）
高谷知佳・小石川裕介編 『日本法史から何がみえるか』（有斐閣、2018年）ISBN:464112597X
毛利透 『グラフィック憲法入門（第2版）』（新世社、2021年）ISBN:4883843246
潮見佳男・中田邦博・松岡久和 『18歳からはじめる民法〔第5版〕』（法律文化社、2023年）ISBN:9784589042606
上神貴佳・三浦まり 『日本政治の第一歩（新版）』（有斐閣、2023年）ISBN:9784641151123

[授業外学修（予習・復習）等]

日常生活において、日本の法や政治をめぐるさまざまな動向や論点に関心を寄せることで、授業の理解が深まるはずである。
また、配付する資料や記載された参考文献を活用して、日本の法と政治に関する基礎的知識を確実に身につけるとともに、各自発展的な学習に役立ててほしい。

[その他（オフィスアワー等）]